【説明会　資料】　　　交野フットボールクラブ

２０２５年度

１．チーム創設について

１９７３年に市教育委員会をはじめとした地域の要望により、根岸氏（クラブ創設者）をはじめとした数名の有志により地域のスポーツ少年団としてスタート

⇒　当時は小学校や自治会単位での少年野球チームなどしかなく、地域に根ざした社会体育の一環としてのクラブとしては、草分け的存在

現在はいろんなスポーツクラブがありますが、地域に密着した活動を４０年以上続けている団体は全国的にも少数

《特色》サッカー少年団としてのスタート以来、サッカーの指導だけではなく、勝ち負けにこだわらず、サッカーを通じて青少年の健やかな体と心を育み、共に育つ喜びを分かち合う

⇒ ソーシャルスキル（豊かな人間関係を育みながら自分らしさを発揮する技術）を身につけ、バランスの取れた豊かな人間性を育むためのサポートをすることを目標

⇒　「スポーツだから結果がすべて」「子供は大人の言うことを聞いていればいい」「うまくできないから怒ってやらせる」「子供はまだ知識がないんだから、教え込まないと」・・・他のスポーツクラブではありがちな考え方ではなく、こどもの自主性を促し、サッカーボールを使って選手とコーチが＜パス交換＞することにより、共に成長していきます。

加えて、チームの活動は、地域のご理解とスタッフ、会員すべての保護者のみなさんによる「ボランティア」で支えられていることが大きな力となっています。

２．指導方針について

当クラブは、「①１０年間の一貫教育」「②楽しさ、面白さから入って、年齢・技術・体力の向上に伴って、より本格的訓練に進む」「③高い技術に支えられた個性豊かな、自分自身の意図・判断・工夫でプレーできる選手に育てる」がメイン

《特色》他のクラブとの大きな違い

1)　小学校３年生からサッカーをはじめれば、小学校の４年間、中学校３年間、高校３年間で計１０年ですので、１０年計画でサッカー選手・サッカー好き・サッカーサポーターになってほしいという考えです。（低年齢化の傾向がありますが、それが全てではありません。）

⇒　②や③を前提とした育成が可能

多くのチームは、１０年後を踏まえて活動することよりも、どこかで結果を出すことが目的になり、その過程が重要視されず、こどもの成長スピード以上に、また飛び越した指導になりがちです。

⇒　交野フットボールクラブに小・中・高（その他にも代表・シニア・レディースチームもあります）の各カテゴリーがあるのは、この指導方針を大事にしているからです。（現在は、中学・高校の部は休部の状況です。）

2)　小学校の１・２年生ではサッカーという「遊び」を通じて、蹴ったり、走ったり、飛び跳ねたり、転んだり、投げたり、バランスをとったり、といういろんな運動をすることがメイン

3)　３・４年生になるにつれ、体のバランスがとれてきて行動が自覚的になってくるので、少し専門性をもってサッカーに取り組んでいきます。サッカーの世界では「ゴールデンエイジ」へ向けてのスタートとして重要な時期でもあり、この時期は一生で二度とない技術の習得に大切な時期で、将来の材料となる技術を身につけることがメインです。（決して全ての技術を身につけるのではありません。）

具体的には、対人のなかでボールを自分の思ったように扱えるための基礎を身につけておけば、将来のボールテクニックの向上につながります。それとあわせて、少しずつ判断と自己責任を理解できるよう求めていきます。

4)　５・６年生になると「ゴールデンエイジ」です。サッカーの世界だけでなく、客観性の強い論理的思考ができるようになり、「学習のための最高の年代」と言われています。

サッカーに必要なあらゆるスキル獲得に最適な時期として位置づけられ、より多くの技

術の習得に進んでいきます。

しかし、あくまで「こどもは小さな大人」ではありません。サッカープレーヤーとしての完成を求めるのではなく、こどもらしいサッカーをたくさん経験することが大切であり、重要です。それとともに、チームの一員、グループの一員として、自由な判断の中にも自己責任や協調性を求めていきます。

5) サッカーのプレーには、「観る」「考える」「判断する」「工夫して実行する」の４つの工程が必要です。ボールをさわりながら顔を上げて周りの様子（相手や味方の動き、ドリブルやパスをするスペースなど）を観るためには、ボールをじっと見なくても思いどおりに扱えることが前提です。

だからこそ、交野ＦＣでは小学生の間は個人のスキルに重点を置きながら、この時期には２人組や３人組といった小さなグループでのスキルの習得に発展させていきます。

ボールを思いどおりに扱えるようになると、誰もが良いプレーをしたいという欲求が出てくるので、少しずつ４つの工程の必要性を感じてできるようになります。

サッカーの経験がある方なら、「もっと早くパスすればいいのに」と思われがちです。私たちも同様に感じます。ではこどもにどう伝えるか。私たちは「あそこに早くパスを出せ！」とは言わず、「ボールを相手に取られないようにしよう！顔を上げて、周りの様子を観よう！どこにドリブルまたはパスしたら相手が困るか考えよう！これがいい、と決めたことを相手にばれないようにやろう！」と言うでしょう。

なぜ今そのプレーをした方がいいのかを自分で決めるためには、言われてするより、失敗をすることで学び、それが自分の「力」となっていくのだと信じています。私たちはこどもの無限の可能性を引き出すために愛情を持って見守っていきたいと思います。

３．選手のみんなへ

○ サッカーをどんどん好きになって、一生懸命練習しよう。でもサッカーだけでなく、遊ぶときは遊びを、勉強するときは勉強を、もちろんサッカーをやるときはサッカーを、熱心に取り組もう。しっかり頭を切り替えることと、集中力が大切です。（でも、ゲームやテレビは集中しすぎないように！）

○ 自分の目で観て感じとって、自分の頭で考え判断して工夫しよう。コーチに言われる前に自分で積極的に努力しよう。学校生活や家庭生活でも同じだよ！

○ クラブの伝統をまもり、みんなでよりよいクラブにしよう。

一番大切なことは、家族・友達・学校の先生・サッカーのコーチ・先輩などに、すすんであいさつしよう。サッカーがうまくても、あいさつできない人はレッドカード！

交野ＦＣはサッカーを通じて知り合った「仲間」が集まったチームです。この仲間を大切にしよう。いつも思いやりとやさしさをもって！

４．保護者のみなさんへ

○ サッカーの練習や試合から帰ったら、こどもたちに「結果はどうだった？」ではなく「楽しかった？」と聞いてあげてください。「今度お父さんにもサッカー教えてよ！」なんて言えば、こどもたちはやる気満々になってくれるでしょう。いつまでもサッカー大好き！という気持ちを持ち続けてくれるよう、スタッフと皆さんで後押ししていければと思います。

○ スタッフとみなさんは、こどもに対しても、またサッカーに対しても「ベストサポーター」でありたいと考えています。サッカーに限らず、こどもなりに、自分で必要だと思うことを自分でやれるように応援していきましょう。サッカーの練習や試合への準備、片付けや、グランド内での行動は、選手自身に任せ、構いすぎないようにお願いします。

「サッカーはこどもを大人にし、大人を紳士にする」・・・デドマール・クラマー

○ クラブの活動には、チームの方針に対するご理解と、運営に対するご協力が不可欠です。よろしくお願いします。

また、みなさん自身もぜひサッカーにチャレンジしてください。（シニア・レディースチームはみなさんをお待ちしています。）親子サッカーでこどもをあっと言わせましょう！

平日・日曜にかかわらず、コーチをしていただける方はぜひ声をかけてください。